

## (2) 下水道事業会計

下水道事業会計予算の状況は、表7-2のとおりである。

表7-2

(単位：百万円、%)

区 分		令和8年度		令和7年度		増減額 (A)-(B)
		(A)	増減率	(B)	増減率	
収益的収支	収 入	33,399	6.3	31,421	1.1	1,978
	支 出	30,842	1.1	30,514	3.3	328
資本的収支	収 入	14,708	4.5	14,080	△ 19.5	628
	支 出	25,493	5.0	24,271	△ 12.9	1,222
支 出 合 計		56,335	2.8	54,785	△ 4.6	1,550

### ① 基本的な考え方

令和8年度は、引き続き下水道事業中長期経営計画に基づき、「安全・安心で快適な生活を支える下水道」を目指し、雨水対策重点地区整備基本方針に基づいた浸水リスクの高い「重点地区」、その他の「一般地区」において、雨水管渠や貯留槽などの雨水施設の整備を進めるほか、市民による防水板設置費用の一部を助成する。

また、下水道の適正な機能を維持するため、下水道ストックマネジメント計画に基づき、処理場及びポンプ場設備の点検・補修を適正に行い、必要に応じて改築を進めるほか、将来人口減少に伴う汚水量を考慮し、老朽化した下水道施設の統廃合を進める。管路については、事故発生時の社会的影響を考慮し、中大口径管を中心にカメラ調査・点検を行い、修繕や改築を進める。

さらに、国の経済対策を活用し、大規模地震発生時に下水道機能を確保するため、下水道総合地震対策計画に基づき、重要な幹線等や処理場・ポンプ場の耐震化を行うとともに、液状化地区におけるマンホール浮上防止対策や避難所へのマンホールトイレの設置を進める。

そのほか、快適な暮らしの基盤づくりに向け、汚水管路の整備を進め、未普及地域の解消に努める。

加えて、「環境の保全と循環型社会を目指す下水道」として、温室効果ガス排出量を削減するため、引き続き南部浄化センター下水汚泥固形燃料化事業を進める。

このほか、「健全な経営に基づいた持続可能な下水道」として、両浄化セン

ター及び一部の地域における管路において、引き続き包括的民間委託による維持管理を行い官民連携の推進を図るなど、良質で持続可能な下水道サービスを提供するため、更なる経営基盤の強化に努める。

## ② 業務の予定量

令和 8 年度は、汚水処理世帯数 468,062 世帯、総処理水量は 1 億 1,601 万 5,841 立方メートルを予定している。この結果、1 日平均処理水量は、31 万 7,852 立方メートルとなっている。

また、主要な建設改良事業については、管渠整備事業費 44 億 5,500 万円、ポンプ場整備事業費 15 億 9,300 万円、処理場整備事業費 29 億 3,100 万円となっている。

## ③ 収益的収入及び支出

収益的収入については、下水道使用料などの営業収益 228 億 5,200 万円、他会計補助金などの営業外収益等 105 億 4,700 万円、合計 333 億 9,900 万円で増減率 6.3% 増となっている。

収益的支出については、管渠費、ポンプ場費、処理場費などの営業費用 275 億 8,800 万円、企業債利息などの営業外費用等 32 億 5,400 万円、合計 308 億 4,200 万円で増減率 1.1% 増となっている。

## ④ 資本的収入及び支出

資本的収入については、企業債 114 億 5,000 万円、国庫補助金 21 億 3,300 万円、他会計負担金等 11 億 2,500 万円、合計 147 億 800 万円で増減率 4.5% 増となっている。

資本的支出については、建設改良費 99 億 6,000 万円、施設利用負担金などの固定資産購入費 6 億 200 万円、企業債償還金等 149 億 3,100 万円、合計 254 億 9,300 万円で増減率 5.0% 増となっている。

### (3) 農業集落排水事業会計

農業集落排水事業会計予算の状況は、表7-3のとおりである。

表7-3

(単位：百万円、%)

区 分		令和8年度		令和7年度		増減額 (A)-(B)
		(A)	増減率	(B)	増減率	
収益的収支	収 入	555	1.4	548	△ 15.3	7
	支 出	541	△ 2.7	556	△ 13.6	△ 15
資本的収支	収 入	782	50.7	519	△ 27.2	263
	支 出	800	56.8	510	△ 28.7	290
支 出 合 計		1,341	25.8	1,066	△ 21.5	275

#### ① 基本的な考え方

令和8年度は、引き続き農業集落排水事業中長期経営計画に基づき、施設の保守・点検及び修繕により適切な汚水処理を行うとともに、施設の再編を進め、効率的な事業運営を図り、経営基盤の強化に努める。

#### ② 業務の予定量

令和8年度は、汚水処理世帯数1,848世帯、総処理水量は54万6,237立方メートルを予定している。この結果、1日平均処理水量は、1,497立方メートルとなっている。

また、主要な建設改良事業については、農業集落排水施設再編工事などの農業集落排水施設整備費5億5,700万円となっている。

#### ③ 収益的収入及び支出

収益的収入については、農業集落排水使用料などの営業収益8,500万円、他会計補助金などの営業外収益4億7,000万円、合計5億5,500万円で増減率1.4%増となっている。

収益的支出については、農業集落排水施設費、減価償却費などの営業費用4億8,400万円、企業債利息などの営業外費用等5,700万円、合計5億4,100万円で増減率2.7%減となっている。

#### ④ 資本的収入及び支出

資本的収入については、企業債4億2,800万円、国・県補助金1億2,900

万円、一般会計補助金等 2 億 2,500 万円、合計 7 億 8,200 万円で増減率 50.7% 増となっている。

資本的支出については、建設改良費 5 億 5,700 万円、企業債償還金等 2 億 4,300 万円、合計 8 億で増減率 56.8% 増となっている。